



グローバルPBL体験談

実施年度	2020年度
プログラム連番	173
実施形態	オンライン
担当教員	機械機能工学科 松日楽信人先生 先進国際課程 吉久保肇子先生、橘雅彦先生 マレーシアサテライトオフィス 石崎浩之先生
実施期間	2021年2月15日～2月19日
実施協定校	マレーシア工科大学(マレーシア)

参加学生体験談（要旨）

機械機能工学科	4年生	<p>私は日頃から語学に興味があるのですが、今回のPBLを通して、語学を勉強することと実際に話せるようになることは、全く別問題であると改めて認識することができました。なかなか日常生活では、勉強したことをアウトプットする機会はないと思うので、このPBLに参加して良かったと思います。</p>
機械機能工学科	3年生	<p>私は英語が苦手で、このようなプログラムで英語を実際にしゃべる経験をしたことがなかったので参加を迷っていたのですが、英語を少しでもできるようにしたいと思い参加しました。</p> <p>実際参加してみて、英語が苦手で海外の人との英語のコミュニケーションも大変でしたが、専門的なプログラムを自分で考えて実際に動かすという実践的な経験をすることで英語への苦手意識を少しでも減らすことができたと思います。</p> <p>オンラインではありましたが、実際にいくのとは直接話せていないだけであまり変わりませんでした。英語がとて苦手で参加を迷っている人ならば、苦手でも参加することで、自分なりの英語のレベルを知ることができ、さらにどこまで頑張ることができるのかという自分の力を試すいい機会になると思います。</p>
機械機能工学科	4年生	<p>私はロボットに興味があり、ヒューマノイドロボットを動かしてみたいと思い、本プログラムを申し込んだ。このプログラムを通じて、マレーシアの学生と英語で話しながら、ロボットを動かすプログラムの基本を学びました。毎日、新しい機能を試してみて、ロボットを動かしました。ロボットが期待通りに動いてくれなかった時は何回もあったが、TAの支援により解決することができました。</p> <p>本プログラムを通じて、ロボットを動かす方法の基本がわかり、マレーシアの学生と友達になれてよかったと思います。参加を迷ってる方の中でプログラミングが心配な方にメッセージがある。ロボットのプログラムはプログラムブロックごとに設定するだけで、動かすことができるので、プログラミングがやったことがなくても、全然問題ないと感じました。</p>
機械機能工学科	3年生	<p>物好きでとりあえず何でも見てみるという理由で参加しました。マレーシアの学生と英語で相談しながらコレグラフを使ってNAOロボットを動かしました。</p>

参加学生体験談（要旨）

機械機能工学科	4年生	<p>参加かどうか結構迷いましたが、でも、やはり学部生として最後のチャンスだと思いまして、勇気をもって参加しました。英語はそんなに得意ではなかったが、今回のプログラムに参加しているうちに、言語はそんなに難しいことではなく、ちゃんと自分の思っていることを伝えられればいいと思いました。別に難しい言葉ではなくても、ほかのいろいろの単語の組み合わせでその意思を伝えられるから、いいと思います。</p>
機械機能工学科	3年生	<p>今回のgPBLはこれまでに参加した語学研修プログラムよりもはるかにためになりました。強制的に英語を使う機会を得ることができるため、話す力、聞く力の向上にとってもいいです。私は英語がうまく話せなかったため、向こうの学生とコミュニケーションをとるのにかなり苦労しました。向こうの学生に迷惑をかけてしまったため、「もっと英語を勉強しておけば…」という強い後悔を感じました。</p> <p>良くも悪くも自分の英語力と向き合えるよい機会になるため、今後のモチベーションにつなげたい、自分の英語力を試したい、という人におすすめします。</p>
機械機能工学科	3年生	<p>当初は自信の英語力のなさを引け目に感じていましたが、以前に参加したタイへの語学研修の時よりも少人数であることから英語を使わざるおえない状況に入ることができたので非常にいい勉強になりました。特に話す力、表現の仕方など文法を学ぶ上で身につづらかったことの訓練になったと思います。</p> <p>向こうの雑音がひどくあまり聞き取れなかったり、飼い猫が脱走し捕まえに行ったため向こうの方がいなくなってしまうなどオンラインならではの弊害はありましたがそれもまた面白い、いい経験になったと思います。さらに自分の英語表現の拙さや語彙力のなさを痛感し、英語の勉強のモチベーションが上がったので良い体験だったと思いました。</p> <p>自分の英語力に自身のないのでどうにかしたいと思っている人、逆に英語力を試したい人にとって、またとない貴重ないい機会です。得るものは多いので迷っているなら参加することをお勧めします。</p>

参加学生体験談（要旨）

機械機能工 学科	3年生	<p>本プログラムに申し込んだ理由は、2つあります。1つ目は、来年度後期のセメスター留学の練習をしておきたいということです。1年次にベトナム短期留学以来、英語でコミュニケーションの機会がほぼなく、いきなり半年留学に行くのは不安だと思い、今回のgPBLに参加しました。2つ目は、プログラミングの経験を積むためです。私は大学に入ってからプログラミングを始め、嫌いではないのですが苦手意識がありました。そこで経験を積むことが苦手意識の改善に少しでもつながればと思い、参加を決意しました。</p> <p>本プログラムを通じて技術的な面では、Python、サーバープログラミング、Androidアプリケーション開発、Arduinoの使用方法などを学びました。ほとんどのことが初体験で戸惑いもありましたが、自分で調べたりグループのメンバーと教え合ったりしながら、何とか理解していくことができました。その他の面では、やはり英語でのコミュニケーションについて学ぶことが多かったように思います。オンライン開催ということで、さまざまなツールを用いて英語でコミュニケーションを取る練習ができました。</p> <p>プログラムを終えて振り返ってみると、全てにおいて自分の力不足を痛感させられる約2週間でした。しかし、それは決してマイナスなことではないと私は考えています。海外の学生は、本当に学習意欲があって積極的で、自分にはないものを多く持っていると感じさせられました。感心したのと同時に、本当に悔しかったです。しかし、このまま圧倒されて終わってしまうのではなく、彼らと互角に渡り合えるように自分も変わっていこうと思います。</p> <p>私は今回のgPBLに必要とされる技術をあまり学んだ事がなく、最初は参加をためらっていました。実際参加してからも、自分の能力の低さに絶望することもありました。しかし、全てを終えた今それも含め、本プログラムに参加したことで得られた貴重な財産であると思います。先生方をはじめ、このような機会を与えてくださった方々に感謝しかありません。本当にありがとうございました。</p> <p>gPBLで学べることは、技術や知識だけではないと思います。参加を迷っている方は、ぜひ勇気を振り絞ってチャレンジしてほしいです。</p>
-------------	-----	--